

①

①← ②

②← ③

③← ④

④← ⑤

⑤← ⑥

地表海面  
の高低

赤色立体地図画像提供  
アジア航測株式会社  
千葉達朗氏

データ：  
ETOPO2 Global  
Relief Model  
(水床表面の高さ)  
NOAA National  
Geophysical Data  
Center's Marine  
Geology and Geophysics  
Division

[http://ngdc.noaa.gov/mgg/  
global/etopo2.html](http://ngdc.noaa.gov/mgg/global/etopo2.html)

**Dagik**

(赤色立体地図の高さ)  
地表海面の高さ





## 地表海底面の高低（赤色立体地図）

<http://earth.dagik.org>

地球表面の高低を示した赤色立体地図（アジア航測株式会社千葉達朗氏提供）です。

データ：ETOPO2 Global Relief Model (氷床表面の高さ)

コンテンツ説明：<http://dagik.org/L/3>

### 手作り地球儀のつくり方：帯型シート（直径 7.5cm）

#### 準備するもの

- 直径 7.5cm の球（ガチャガチャカプセルや発泡スチロール球など）
  - 印刷する紙（再剥離タイプのノーカットラベルシートをお勧め）
  - カラープリンター（インクジェット式の方が色が剥がれずにきれいに作れます）
  - カッターと定規（あるいはハサミでも）
  - スプーンなど使いもの（貼り付けた後で、シワを伸ばすのに使います）
- 必要に応じて：
- のり（ラベルシートではなく普通紙に印刷する場合は必要）
  - 磁石や重り（ガチャガチャカプセルの場合はカプセルの中に磁石や重りを入れられます。発泡スチロール球の場合は、穴を開けて埋め込むことができます。）

#### （印刷する）

- (1) 拡大縮小をせずに **100% のサイズで印刷** します。（画像が印刷されている帯の両端付近の線の間の長さが 23.5cm くらいに印刷されます。）

#### （切る）

- (2) **オレンジの線**（灰色と画像の境界ではなく）でまっすぐに切り取り、6 本の帯にします。

#### （貼る）

- (3) **数字の順番**に貼ります、まずは①の帯を貼りましょう。  
(4) カプセル球の線と、型紙の赤道の線を合わせて貼ります。数字が書いてある所を下に重ねるよう、南極等の・マーク（黒点）も目印にしながら貼ります。  
(5) 球を両手で **軽く握り**、紙①をなじませます。  
(6) 次の②の帯を①の右側に貼ります。向いて注意してください、少しづつ重なるようになっていますので、赤道の短いたて線マーク + を重ねてください。  
(7) あとは同じように繰り返し、線や画像ができるだけ **ずれないように** 重ねて貼り合わせましょう。

#### （シワを伸ばす）

- (8) 貼り付けた帯がよれて、シワになっている部分を、スプーンの背中（丸い方）でこすって伸ばし、平らにしてください。全ての帯を貼ってからこすっても良いですし、1 枚の帯を貼るごとにこすっても良いです。

